

評価① 基礎探究 評価基準

評価の観点						
興味関心・探究心・協働 知識・理解・思考・判断 技能・表現	確固たる課題意識を持って、強い好奇心で活動した。 授業内容を正しく理解し、データ収集や分析を綿密に行った。 調べた資料やデータから独創的なアイデアを導き出した。					
	5	4	3	2	1	0
	求めているレベルを 越えて達成している	求めているレベルを 十分に達成している	求めているレベルを 概ね達成している	求めているレベルを 達成できていない が、幾分の努力が認められる	求めているレベルを 達成するには大きな 課題がある	基準が該当しない

評価② 基礎探究 研究レポート・講演会ワークシート 評価

評価項目	評価尺度				
	(10～)9点	(8～)7点	(6～)5点	(4～)3点	0点
内容	大変良い	良い	普通	もう少し	未提出
書式・文字数	<input type="checkbox"/> 指示ページ数・文字数等が守られている		<input type="checkbox"/> 指示ページ数・文字数等が守られていない		満たしていなければ 各項目で1点減点
提出期限	<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っている		<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っていない		
提出物	<input type="checkbox"/> 提出すべきものがすべて揃っている		<input type="checkbox"/> 提出すべきものがすべて揃っていない		

評価③ 基礎探究 課題発表評価

評価の観点	評価尺度					
	5	4	3	2	1	0
評価の観点	求めているレベルを越えて達成している	求めているレベルを十分に達成している	求めているレベルを概ね達成している	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる	求めているレベルを達成するには大きな課題がある	基準が該当しない
結果のまとめと考察	豊富な資料やデータをもとに、優れた分析がなされている。目的で述べた課題意識に対する考察が発展的に考えられている。	必要とされる資料やデータを得て、適切な分析・考察がなされている。また、目的で述べられた課題意識との整合性もある。	資料やデータの分析は、おおむね適切と言える。考察としておおむね妥当ではあるが、目的で述べた課題意識との関連はあまり明確ではない。	分析が適切ではない。研究結果に対する考察として飛躍しすぎているか、単なる結果の要約である。	資料やデータの調べ方が不適切で、十分な分析がなされていない。考察が述べられていないか、考察として不適切である。	この項目の評価は、探究活動には適していない。
発表態度 発表技能	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明している。説得力のあるプレゼンテーションで、聞き手を魅了している。	一部原稿を参照することがあるが、自分の言葉で発表している。言葉づかい、声の大きさ、話す速度は適切で、分かりやすい。	発表態度は原稿を見ながら話しているが、言葉づかい、声の大きさ、話す態度については、おおむね適切である。	言葉づかい、声の大きさ、話す速度が適切でない。また、終始原稿を見ながら発表し、自分の言葉で発表できていない。	声が小さく、発表内容が聴衆に伝わらない。	この項目の評価は、探究活動には適していない。